

2020 事故速報（対象：幼児、小学生、中学生、高校生、一般）

（注）その月に報告のあった事故をまとめた速報です。

No	発生日	報告日	学年等	性別	経験年数	病名	重大 準重大	場所 状況	技名等	概要	事故防止の指針
1	1/4	2/15	高1	男	3年9カ月	頸椎捻挫、 脳しんとう、 脊髄しんとう	—	練習	大外刈り	相手との練習中（乱取り中）、大外刈りで投げられた際に後頭部、首から落ちた。	○取は投げた後に引き手を保持して受に受け身をとらせることを徹底する。投げた後に同体で倒れないことを徹底する。
2	1/10	1/30	小5	男	6年9カ月	急性硬膜下血腫	準重大	練習	組み手争い	相手との練習中（乱取中）、組み手争いで前のめりにつぶれ頭部を打撲、練習後に頭痛を訴えた。	○練習中の子どもの状況を常に把握する。
3	1/13	1/17	高2	男	4年10カ月	脳しんとう	—	試合	大外刈り	相手が両袖をもったまま右大外刈りをかけられ、右側頭部を打ち動けなくなった。	○受け身をとれない技をかけさせない指導を徹底する。
4	2/2	2/19	中2	男	4年3カ月	脳しんとう	—	試合	払い巻き込み	相手が払い巻き込みを掛けそのまま倒れ込んで受傷者の頭に乗る、側頭部を殴打した。	○普段の練習から無理な巻き込み技をかけないように指導を徹底する。 ○試合では少年大会申し合わせ事項を遵守して無理な巻き込み技をかけた場合は厳格に反則をとるなどを徹底する。
5	2/21	6/10	一般 (61歳)	男	20年	頸椎損傷	重大	練習	背負い投げ	所属クラブでの定例練習会に参加し、小学生（4年）と乱取り稽古中に背負い投げをかけられ、受け身をとろうとしたが、頭頂部から畳に落ちて受傷した。	○子供は足腰の筋力が弱く、投げた時に態勢が崩れることもあるので、受は自ら受け身をとることを徹底する。中高年では軽微な外傷でも頸髄損傷になることがある（「柔道の安全指導」5訂版52ページ）ので、特に注意が必要。

【凡 例】

- 「重大」（重大事故）：「頭部外傷、頸椎損傷、熱中症などにより死亡もしくは重篤な後遺障害が生じた事故（見舞金支給に該当する事故）」
- 「準重大」（重大事故に準ずる事故）：「頭部外傷、頸椎事故、熱中症により手術、もしくは長期間の入院をした事故、その他事故抑止のための参考となる特異な事故」